あけましておめでとうございます

小林哲夫

また新しい年がやってきました。1年に一度の年賀状。ご無沙汰しているかたには「私，まだ生きていますよ」という挨拶，親しい人には近況報告，お世話になった人には感謝の言葉，自分にとっては1年間の総括と新しい年への思い，そんな賀状になればと思います。

その前にどうしても世の中や業界のことが気になります。我々の多くは選挙のときには心を無くしてしまうのでしょうか。あまりにも情けない人たちがいまの世の中を操っています。日本も世界も，対立と不信，絶望と混乱に満ちています。

出版業界も超過酷。しかし私の考えは少し違います。厳しいのは書店－取次ルート業界，そうでない出版業界は，本づくり，教材づくりともに，IT化，メディアの多様化とともに広がりを見せており，コンテンツ加工としての「編集」はますます需要が高まっています。

昨年の4月から日本編集制作協会（AJEC）の理事長を委嘱されました。36年目を迎えた協会ですが，かつては100社近い会員社が群雄割拠して，活発な活動をしてきました。私もメンバーとして30年以上お世話になり，さまざまな刺激と仲間に恵まれました。いまは40社ほど，転換期を迎えています。

私が立てた目標は3つ。協会の①若返り＝リーダーのバトンタッチ，②内外の広報活動のIT化，③組織拡大＝そのための既存の体制・行事の見直し・再構築です。お世話になった恩返しの気持ちで取り組んでいこうと思っています。

これはまた，私の会社エディットにも当てはまる課題です。若い人の育成，SNSやデジタルコミュニケーションツールを駆使した社員交流・プロモーション活動，そして東京・大阪オフィスの安定した拠点づくりです。

昨年のエディットは良い成績とはいえませんでした。しかし，社員旅行や忘年会も一昨年並みに行うことができました。

今年のエディットは「働き方改革」を進めながら，教材の改訂期を乗り切っていくことになります。社員の意識変革を含めた大きな課題です。コミュニケーションを大事にしながら，焦らずに取り組んでいこうと思います。

昨年の私個人の「旅」の報告です。

3月／由布院温泉，4月／タイ・バンコク，エクシブ浜名湖，広島&大阪，5月／エクシブ湯河原・山中湖，金沢，6月／南紀串本，熱海（AJEC），城崎・天橋立，7月／エクシブ箱根・宮ノ下，エクシブ蓼科・諏訪，8月／マタブンカイ，9月／天橋立・城崎・竹田城（社員旅行），10月／奄美大島，南知多（同級会），11月／稲武・香嵐渓。

書き出してみると，あちこち出かけているようですが，日数は少ないですね。

今年は亥年，私は6回目の年男。これからどうしようか，いちばん悩む年でもあります。

34年前の賀状に「大海に出た小舟」と書きました。その思いはいまも変わりません。さまざまな波に向かって，これからも漕ぎ続けていくしかありません。

秋半ば　奄美の島で　骨休み
亥年きて　旅はまだまだ　終わらない

AJEC編集プロダクションフェアー今年は「出版クラブホール」で開催予定

エディット社員旅行－天橋立・城崎・竹田城へ行ってきました（2018年09月）

奄美大島の旅－ホテルからの夕陽，田中一村美術館が思い出に（2018年10月）

企画・執筆・編集・制作
株式会社エディット
代表取締役　小林哲夫
http://www.edit-jp.com/

名古屋本社　〒451-0046 名古屋市西区牛島町5-2 名駅TKビル6F
TEL:052-586-0631（代）　FAX:052-586-0632

東京オフィス　〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン727号
TEL:03-5225-0981（代）　FAX:03-3266-5072

大阪オフィス　〒541-0041 大阪市中央区北浜3-5-19 淀屋橋ホワイトビル606号
TEL:06-6208-0501（代）　FAX:06-6208-0502

（過去の賀状は：http://www.edit-jp.net/room/nenga.htmlにあります）